

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年1月21日

会社名 株式会社日本トリム
 コード番号 6788
 代表者 代表取締役社長
 問合せ先責任者 執行役員管理事業部長

上場取引所 東京証券取引所市場第1部
 URL <http://www.nihon-trim.co.jp>

氏名 森 澤 紳 勝
 氏名 尾 田 虎二郎 TEL (06) 6456-4600

(百万円未満切捨)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年3月期第3四半期	6,896 (△9.2)	768 (△39.2)	816 (△39.3)	415 (△44.9)
19年3月期第3四半期	7,594 (△0.2)	1,263 (△17.7)	1,346 (△15.5)	753 (△10.3)
19年3月期	9,571	1,390	1,488	793

	1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭
20年3月期第3四半期	91.34
19年3月期第3四半期	164.01
19年3月期	173.07

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	11,877	9,655	81.3	2,126.81
19年3月期第3四半期	12,307	9,642	78.3	2,101.40
19年3月期	12,111	9,585	79.1	2,100.05

2. 配当の状況

	1株当たり配当金
(基準日)	第3四半期末
	円 銭
19年3月期第3四半期	—
20年3月期第3四半期	—

3. 平成20年3月期の連結業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

当第3四半期の業績は前年同期比減収減益となりましたが、平成19年11月5日に公表しました業績予想の変更はありません。

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	8,715	673	743	322	70.77

※上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動： 有

[新規 2社 (社名 株式会社トリムジンホールディングス、 除外 一社)
株式会社トリムメディカルインスティテュート)

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

税金費用の計算は簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(参考) 個別業績の概要

1. 平成20年3月期第3四半期の個別業績 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年3月期第3四半期	6,785 (△9.1)	837 (△33.1)	914 (△32.1)	312 (△61.2)
19年3月期第3四半期	7,467 (△1.6)	1,251 (△14.4)	1,346 (△11.9)	804 (△3.3)
19年3月期	9,402	1,407	1,530	897

	1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭
20年3月期第3四半期	68.70
19年3月期第3四半期	175.22
19年3月期	195.78

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第3四半期	11,164	9,562	85.7	2,108.84
19年3月期第3四半期	11,411	9,592	84.1	2,094.82
19年3月期	11,548	9,587	83.0	2,103.69

2. 平成20年3月期の個別業績予想 (平成19年4月1日～平成20年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	8,573	847	945	332	72.97

※上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(1) 当期の概況

当社グループの第3四半期連結会計期間(平成19年4月1日～平成19年12月31日)の業績は、売上高6,896百万円(前期比9.2%減)、営業利益768百万円(同39.2%減)、経常利益816百万円(同39.3%減)となりました。当社グループでは、来期以降の飛躍のため、足元を固めつつ、業績の向上に注力しており、販路拡大を目的に、資本提携も視野に入れた業務提携に向けた取り組みを推進していきます。その上で医療分野への本格的参入やボトリングビジネス拡大等のため、中長期的視野に立った研究開発、新規事業への積極投資に取り組んでおります。

昨年11月5日に当社は平成20年3月期業績予想を修正する公表を行っております。

当第3四半期連結会計期間においての進捗は、連結において売上高8,715百万円に対し79.1%、営業利益673百万円に対し114.1%、経常利益743百万円に対し110.0% 当期利益322百万円に対し129.0%となっております。

また個別においては、売上高8,573百万円に対し79.1%、営業利益 847百万円に対し98.8%、経常利益945百万円に対し96.7%、当期利益332百万円に対し93.9%の進捗となっております。

現在、新たな販売チャネルの開拓に取り組んでおり、具体的に新規大手企業との取引も決まっておりますが、業績へ寄与するにはいま暫く時間を要する見込みです。

〔DS・HS事業部(DS/職域販売を主たる販売形態とする事業部、HS/販売する整水器の取付と紹介販売を主とする事業部)〕

職域販売・取付け及び紹介販売部門(DS・HS事業部)については、11月より新製品「TRIMION TI-5HX」の販売を開始しました。職域販売・取付け及び紹介販売部門の整水器売上高の第三四半期間10月～12月累計、975百万円のうち新商品「TRIMION TI-5HX」の売上高は197百万円です。月間で11月は54百万円、12月は131百万円を販売いたしました。新商品の整水器売上構成比が2ヶ月で20.2%までになりました。当社整水器旧タイプの機種と比較しますと売上高が2ヶ月間累計で、限界的に売上高で19百万円増加、営業利益は14百万円の増加と新商品効果がでております。

DS・HS事業部の当第3四半期連結会計期間の売上高は3,487百万円(対前年同期比11.6%減)となりました。

〔業務部(OEM販売、一般卸販売の事業部)〕

OEM・卸販売部門(業務部)については、大手OEM先へ新規OEM製品を前期3月に投入しましたが、期初計画には及んでおらず、営業面でのバックアップも含め、拡販に向けた協力体制を取っております。

新規となる大手取引先に対する展開を現在推進しておりますが、第3四半期の業績に寄与するには至りませんでした。

OEM・卸販売部門(業務部)の当第3四半期連結会計期間の売上高は1,114百万円(同21.9%減)となりました。

〔SS事業部(百貨店、量販店等での催事販売を主とする事業部)〕

店頭催事販売部門におきましては、上期半ばに新たなインセンティブ体系を確立し、これに基づく新規外務員の拡充も着実に進んでおり、第3四半期末にかけ15名新規採用しました。教育指導等を行い、第3四半期に18百万円の売上に寄与しております。また、百貨店向けの高級機種の開発も早期に導入できるよう推進しております。

店頭催事販売部門の当第3四半期連結会計期間の売上高は583百万円(同24.5%減)となりました。

〔ストックビジネス〕

ストックビジネスであるカートリッジ販売部門につきましては、前年同期比29.6%増と今後も安定して伸長していくものと思われれます。

〔販売費・一般管理費〕

6月から全社員参加の社内提案制度による優秀な提案を積極的に採用し、カートリッジ発送拠点の1本化による運送費の削減、旅費交通費全般の見直し、携帯電話採用による、通信費の削減を実施し、顧客満足の観点からの積極的な業務フローの改善と併せ、引き続き経費削減に努めて参ります。

当第3四半期連結会計期間の販売費及び一般管理費は4,239百万円(対前年同期比2%減)となりました。

〔研究開発分野〕

研究開発につきましては、東北大学大学院との人工透析への応用に関する研究は、順調に進展しております。本年、新たに3病院との臨床研究に入る予定です。また、昨年11月に当社は共同研究を行って参りました同大

学院医学系研究科と共同で大学発ベンチャーの受託測定会社として株式会社トリム メディカル インスティテュートを設立、地元紙にも大きく取り上げられました。

さらに、電解還元水飲用による具体的な疾病への効果検証を目的に、糖尿病に関する臨床共同研究を、昨年11月より高知大学と開始いたしました。また、メタボリック症候群への効果を検証すべく、産病共同研究を行っている財団法人田附興風会医学研究所北野病院と臨床データの集積を行なう計画をしており、既にプレデータとして良い結果を得ました。本年4月より、メタボ対策として健康保険組合に対して、40歳以上の被保険者・被扶養者を対象とした特定健診実施と健診後の保健指導が義務化されますが、当社の電解還元水研究の取り組みが、こうした分野でも貢献していけるものと考えております。また、それにより飲用分野での大きなマーケットを構築できるものと確信しております。

その他、基礎研究は勿論のこと、農業、工業等、他分野への電解還元水の応用を目指し、現在行っている研究を引き続き推進するとともに、新たな分野につきましても、精力的な研究開発に取り組んで参ります。

〔海外事業分野〕

海外事業につきましては、インドネシア関連会社PT SUPER WAHANA TEHNOは、ペットボトルPristineを主軸商品として、インドネシア国内シェア約45%のアクアをターゲットに、精力的にマーケティングに取り組み、昨年5月からはガロンボトルを販売開始するなど、順調に進展いたしております。今後、国内でのシェア拡大と共に、アジア、オセアニア地域への輸出も目指し取り組んで参ります。

広州多寧健康科技有限公司におきましては、日本からのバックアップの下、現地大手代理店の開拓に取り組んでおります。

一方、異常遺伝子検索キットの研究開発・製造販売を主事業とする米国連結子会社TrimGen Corporation(トリムジンコーポレーション)におきましては、更なる研究開発の促進と共に、マーケティング、財務強化等に取り組んでおります。昨年10月には、FDA510Kの申請を行いました。また、検査事業を行うCLIA-Lab開設に必要となる臨床検査免許申請を行ないます。

昨年設立いたしました、TrimGen Corporationの持株会社(㈱トリムジン ホールディングス)では、IPOを目指し、今後も事業基盤の更なる充実、業容の拡大のために検査会社等とのアライアンスも視野に入れた積極的な事業展開を行っております。

〔その他〕

その他、トピックスといたしましては、本年より、四国・九州アイランドリーグの高知ファイティングドックスのメインスポンサーを務めることとなりました。スポーツ選手にとって重要な水分補給の面からの貢献及びトリムブランドの認知度向上を目指すと共に、地域社会への活性化へも貢献してまいりたいと考えております。

このように当社グループでは、将来の飛躍に向けて販売体制を強化するとともに、業績向上を目指し、精力的な事業展開を推進しております。

製品別売上高及び構成比率は以下の通りであります。

【製品別売上高】

品 種	期 別	当 第 3 四 半 期 連 結 会 計 期 間		前 第 3 四 半 期 連 結 会 計 期 間		前 連 結 会 計 年 度	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
電 解 還 元 水 整 水 器		5,104	74.0	5,968	78.6	7,476	78.1
浄 水 カ ー ト リ ッ ジ		1,407	20.4	1,085	14.3	1,413	14.8
電 解 温 泉 器		49	0.7	139	1.8	109	1.1
電 位 治 療 器		26	0.4	95	1.3	103	1.1
そ の 他		309	4.5	305	4.0	468	4.9
合 計		6,896	100.0	7,594	100.0	9,571	100.0

- (2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象
該当事項はありません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期の総資産は11,877百万円で前年同期に比べ429百万円減少しました。これは、主に売掛金の減少383百万円です。

純資産は、9,655百万円で前年同期に比べ13百万円増加しました。これは、主に利益剰余金が前年同期に比べ230百万円増加しましたが、自己株式の取得194百万円増加、保有有価証券の評価差額金が13百万円減少したことによるものであります。

3. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円、%)

科目	期別	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	金額			金額	金額	
(資産の部)						
I	流動資産					
1.	現金及び預金	4,426,117	4,239,020	△187,097	△4.2	4,362,229
2.	受取手形及び 売掛金	2,404,339	2,241,517	△162,822	△6.8	2,402,617
3.	たな卸資産	550,528	533,937	△16,590	△3.0	491,644
4.	その他	201,444	216,948	15,504	7.7	187,173
	流動資産合計	7,582,429	7,231,424	△351,005	△4.6	7,443,664
II	固定資産					
1.	有形固定資産	3,497,111	3,461,940	△35,171	△1.0	3,520,822
2.	無形固定資産	30,524	24,164	△6,359	△20.8	29,741
3.	投資その他の 資産	1,197,350	1,160,120	△37,230	△3.1	1,117,267
	固定資産合計	4,724,985	4,646,224	△78,760	△1.7	4,667,832
	資産合計	12,307,415	11,877,649	△429,766	△3.5	12,111,496
(負債の部)						
I	流動負債					
1.	支払手形及び 買掛金	769,885	573,371	△196,513	△25.5	545,820
2.	その他	896,238	700,974	△195,263	△21.8	993,444
	流動負債合計	1,666,123	1,274,346	△391,776	△23.5	1,539,265
II	固定負債	999,097	948,083	△51,013	△5.1	986,800
	負債合計	2,665,220	2,222,430	△442,790	△16.6	2,526,065
(純資産の部)						
I	株主資本合計	9,598,023	9,633,915	35,891	0.4	9,534,079
II	評価・換算差 額等合計	25,064	10,427	△14,636	△58.4	36,628
III	少数株主持分	19,106	10,875	△8,230	△43.1	14,723
	純資産合計	9,642,194	9,655,218	13,024	0.1	9,585,430
	負債及び純資産合計	12,307,415	11,877,649	△429,766	△3.5	12,111,496

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円、%)

科目	期別	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
		金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I	売上高	7,594,252	6,896,040	△698,211	△9.2	9,571,963
II	売上原価	2,004,823	1,888,377	△116,445	△5.8	2,568,930
III	売上総利益	5,589,429	5,007,663	△581,766	△10.4	7,003,032
	販売費及管理費	4,325,637	4,239,480	△86,157	△2.0	5,612,268
	営業利益	1,263,792	768,182	△495,609	△39.2	1,390,764
IV	営業外収益	104,668	83,006	△21,661	△20.7	131,918
V	営業外費用	21,473	34,223	12,749	59.4	34,613
	経常利益	1,346,987	816,966	△530,021	△39.3	1,488,068
VI	特別利益	—	—	—	—	—
VII	特別損失	780	3,315	2,534	324.5	1,174
	税金等調整前四半期(当期)純利益	1,346,206	813,651	△532,555	△39.6	1,486,894
	税金費用	600,386	402,235	△198,151	△33.0	701,854
	少数株主損益	7,320	3,847	△3,472	△47.4	8,788
	四半期(当期)純利益	753,139	415,263	△337,876	△44.9	793,828

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第3四半期連結会計期間(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換算 差額等	少数株 主持分	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本合計			
平成19年3月31日残高	992,597	986,912	7,896,202	△341,632	9,534,079	36,628	14,723	9,585,430
第3四半期中の変動額								
剰余金の配当	—	—	△227,868	—	△227,868	—	—	△227,868
四半期純利益	—	—	415,263	—	415,263	—	—	415,263
自己株式の取得	—	—	—	△88,187	△88,187	—	—	△88,187
自己株式の処分	—	△85	—	714	629	—	—	629
株主資本以外の項目 の当四半期の変動額 (純額)	—	—	—	—	—	△26,200	△3,847	△30,047
第3四半期中の変動額合計	—	△85	187,394	△87,473	99,835	△26,200	△3,847	69,787
平成19年12月31日残高	992,597	986,826	8,083,596	△429,105	9,633,915	10,427	10,875	9,655,218

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

前連結会計年度(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					評価・換 算差額等	少数株 主持分	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本合計			
平成18年3月31日残高	992,597	987,330	7,332,893	△70,142	9,242,678	90,544	13,192	9,346,415
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当	—	—	△230,519	—	△230,519	—	—	△230,519
当期純利益	—	—	793,828	—	793,828	—	—	793,828
自己株式の取得	—	—	—	△275,682	△275,682	—	—	△275,682
自己株式の処分	—	△418	—	4,193	3,774	—	—	3,774
株主資本以外の項目 の連結会計年度中の 変動額(純額)	—	—	—	—	—	△53,916	1,530	△52,385
連結会計年度中の変 動額合計	—	△418	563,308	△271,489	291,400	△53,916	1,530	239,015
平成19年3月31日残高	992,597	986,912	7,896,202	△341,632	9,534,079	36,628	14,723	9,585,430

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(参考) (要約) 四半期個別財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位: 千円、%)

科目	期別	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
		金額	金額	金額	増減比	金額
	(資産の部)					
I	流動資産					
1.	現金及び預金	3,643,323	2,686,532	△956,790	△26.3	3,808,067
2.	受取手形及び 売掛金	1,140,297	969,691	△170,605	△15.0	1,172,210
3.	たな卸資産	56,576	68,240	11,664	20.6	44,708
4.	その他	220,033	256,374	36,341	16.5	213,975
	流動資産合計	5,060,229	3,980,839	△1,079,390	△21.3	5,238,962
II	固定資産					
1.	有形固定資産	2,859,329	2,823,926	△35,402	△1.2	2,858,505
2.	無形固定資産	25,471	19,206	△6,264	△24.6	23,801
3.	投資その他の 資産	3,466,440	4,340,657	874,216	25.2	3,427,517
	固定資産合計	6,351,241	7,183,791	832,549	13.1	6,309,824
	資産合計	11,411,471	11,164,630	△246,841	△2.2	11,548,787
	(負債の部)					
I	流動負債					
1.	買掛金	225,675	205,034	△20,640	△9.1	285,588
2.	その他	721,674	554,094	△167,580	△23.2	805,596
	流動負債合計	947,350	759,129	△188,221	△19.9	1,091,185
II	固定負債	871,171	842,647	△28,523	△3.3	870,325
	負債合計	1,818,522	1,601,777	△216,744	△11.9	1,961,511
	(純資産の部)					
I	純資産合計	9,592,949	9,562,853	△30,096	△0.3	9,587,275
	負債及び純資産合計	11,411,471	11,164,630	△246,841	△2.2	11,548,787

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：千円、%)

科目	期別	前年同四半期 (平成19年3月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第3四半期)	増減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
		金額	金額	金額	増減率	金額
I	売上高	7,467,601	6,785,521	△682,079	△9.1	9,402,648
II	売上原価	2,142,080	1,934,950	△207,130	△9.7	2,705,593
III	売上総利益	5,325,521	4,850,571	△474,949	△8.9	6,697,055
	販売費及管理費	4,074,504	4,013,419	△61,085	△1.5	5,289,258
	営業利益	1,251,016	837,152	△413,863	△33.1	1,407,796
IV	営業外収益	114,976	97,517	△17,458	△15.2	149,872
V	営業外費用	19,241	20,432	1,190	6.2	27,231
	経常利益	1,346,750	914,237	△432,512	△32.1	1,530,437
VI	特別利益	—	—	—	—	—
VII	特別損失	—	385,992	385,992	—	393
	税金等調整前四半期(当期)純利益	1,346,750	528,245	△818,505	△60.8	1,530,044
	税金費用	542,135	215,904	△326,231	△60.2	632,069
	四半期(当期)純利益	804,615	312,341	△492,274	△61.2	897,974

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

(3) (要約) 四半期株主資本等変動計算書

当第3四半期会計期間 (平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計		
平成19年3月31日残高	992,597	986,912	7,907,470	△341,632	9,545,347	41,928	9,587,275
第3四半期中の変動額							
剰余金の配当	—	—	△227,868	—	△227,868	—	△227,868
四半期純利益	—	—	312,341	—	312,341	—	312,341
自己株式の取得	—	—	—	△88,187	△88,187	—	△88,187
自己株式の処分	—	△85	—	714	629	—	629
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)	—	—	—	—	—	△21,337	△21,337
当四半期の変動額合計	—	△85	84,473	△87,473	△3,085	△21,337	△24,422
平成19年12月31日残高	992,597	986,826	7,991,943	△429,105	9,542,262	20,591	9,562,853

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

前会計年度 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計		
平成18年3月31日残高	992,597	987,330	7,240,015	△70,142	9,149,800	100,514	9,250,315
事業年度中の変動額							
剰余金の配当	—	—	△230,519	—	△230,519	—	△230,519
当期純利益	—	—	897,974	—	897,974	—	897,974
自己株式の取得	—	—	—	△275,682	△275,682	—	△275,682
自己株式の処分	—	△418	—	4,193	3,774	—	3,774
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)	—	—	—	—	—	△58,586	△58,586
事業年度中の変動額 合計	—	△418	667,455	△271,489	395,547	△58,586	336,960
平成19年3月31日残高	992,597	986,912	7,907,470	△341,632	9,545,347	41,928	9,587,275

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。